



羽幌遊歩ユースホステル

日本海を望む丘の宿は、 羽幌を愛する夫妻が営む 旅の交差点

2つの島影に沈む夕陽や
巨大な風車群などの絶景を満喫できる羽幌町。
雄大な自然に囲まれた宿で、
とっておきの出会いが待っている！

» 天売島 TEURITO

©羽幌町観光協会

羽幌遊歩ユースホステル

〒078-4123
北海道苫前郡羽幌町栄町260
TEL:0164-62-2146
URL:<http://www.atloop.net/ororon/>



JR留萌線留萌駅下車(沿岸バス
幌延行または遠別行で1時間30
分)、栄町地下車、徒歩10分。
JR札幌駅より沿岸バス特急はほ
ろ3号で3時間。羽幌バスターミ
ナルより送迎あり。

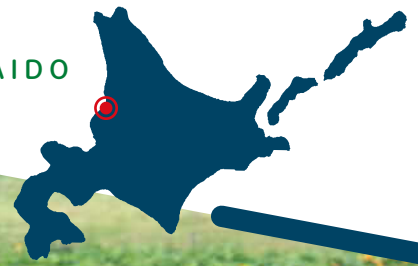


羽幌遊歩
ユースホステル

南から北から旅人が行き交う
オロロンライン
唯一のユースホステル

北海道には、「日本海オロロンライン」と呼ばれる、全長約290キロにもおよぶ雄大なドライブルートがある。南は石狩から北は稚内まで、日本海沿いに走るこのルートの中間地点にある羽幌町に、目指す「羽幌遊歩ユースホステル」はある。オロロンライン唯一のユースホステルとして、南から北上する旅人、北から南下する旅人が立ち寄り、フレッシュな旅の情報が飛び交う宿だ。

かつてニシン漁と炭鉱で栄えた羽幌町は、現在、甘エビの漁獲量日本一を誇り、沖合に浮かぶ天売島、焼尻島への観光拠点としての役割を担う。1990年に「暑寒別天売焼尻国定公園」に指定された2つの小島は、その豊かな自然が魅力。焼尻島は、美しい花を咲かせる貴重な野草や深い森が息づき、一方の天売島は、絶滅危惧種のオロロン鳥やウトウなどが生息する海鳥の楽園で知られる。



《 焼尻島 YAGISHIRITO 》

©羽幌町観光協会



羽幌遊歩ユースホステル

高梨雅弘マネージャー・恵理さん夫妻

マネージャーの雅弘さんは東京出身、奥様の恵理さんは釧路生まれ。ホステラー同士で結婚し、二人の出会いの地・羽幌に移住して早33年。気さくな二人の温かい人柄に惹かれて訪れるリピーターも多い。

そんな羽幌町のスポーツ公園の一角に、羽幌遊歩ユースホステルは立つ。野球場2面、サッカー場、陸上競技場、さらにパークゴルフ場を完備した広大な園内を見下ろす丘の上にあり、グレーとイエローのツートンカラーに塗られた壁と三角屋根が目印だ。

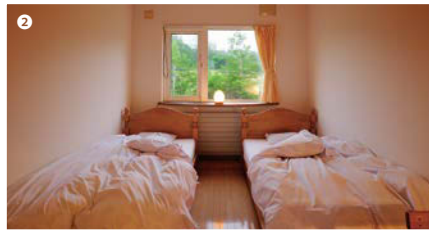
玄関で出迎えてくれたのは、マネージャーの高梨雅弘・恵理夫妻。宿が公園内にある理由を尋ねると、「以前は羽幌町立のユースホステルがここにあり、それを建て替えたからなんです」と雅弘さんが教えてくれた。実はこのユースホステルこそ、東京・新宿生まれの雅弘さんと、道東・釧路生まれの恵理さんが出会った運命の宿だったのである。



食事を担当する恵理さんの料理は宿泊客に大好評。地元の野菜や魚介を盛り込んだボリュームたっぷりのメニューを、日本最北限の羽幌でとれた地元産米のおいしさとともに堪能できる。



①5人用ロフト付き家族室はファミリーに人気。②家族室はツインの2人用も用意する。③写真の4人部屋も含め、全室に「月のすずく」「いさり火」「水かがみ」など曜日を配した部屋名がつく。

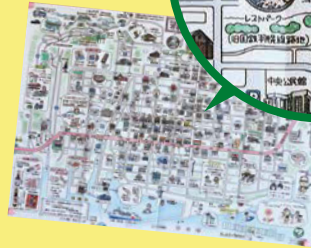


④広々とした1階の食堂。周囲の自然と調和するテーブルやイスは、地元の授産施設で手作りされたもの。ぬくもりある空間で旅の疲れを癒せる。



⑤マンガや本がずらりと並ぶ談話室。のんびり読書をしたり、夜更けまで語り合ったりと過ごし方いろいろ。

羽幌のガイドマップは必見。羽幌名物・甘エビ丼のお店も載っています！



自転車旅の末に北海道へ移住、夫婦で念願のペアレントに

十代の頃は、旅にまったく興味がなかったという雅弘さんが、信州へ自転車旅行に出かけたのは、ほんの気まぐれからだった。

「22歳のときです。インテリアデザインの仕事も順調でしたし、信州旅行はちょっとした気分転換のつもりでした。」ところが、初めて泊まったユースホステルでの一夜が、雅弘さんの人生を変えた。

「相部屋になった2人の男性と、コーヒーだけで朝まで語り合っただけです。ひとはサラリーマン、もうひとは自転車で日本一周旅行の途中でした。」

話は身近なことから始まり、人生論にまで及んだ。「最高に面白かった。2人とも視野が広くて、生き方に信念があった。旅には何かあると直感したんです。翌年、雅弘さんは仕事を辞め、自転車による日本一周の旅に出たのだ。」

その旅の途中で立ち寄ったのが、廃校となった小学校を利用した羽幌町立ユースホステルだった。そこでアルバイトしていた恵理さんと出会う。「ホステラーだった兄の影響で、高校生の時から道内のユース巡りをしていました。ユースで働きたいという思いが高じて、就職した会社を4年で辞めちゃいました」と恵理さんは笑う。

化石ハンターにも出会える!? 個性的な旅人が集まる宿

オープンから今年で23年目。これまで国内外から多くの宿泊客が訪れた。高梨夫妻の人柄を慕うリピーターも多い。そのなかには、道内外の大学で古生物学の研究に取り組む研究者たちがいる。実はここ羽幌は、世界的に知られるアンモナイトの産地でもあるのだ。

研究者たちは、このユースホステルを拠点に連日山中深くに分け入る。高梨夫妻は、そうした研究者たちを長年見守り続けてきた。「学生だった若者が、その後先生になり、また学生たちを連れてくる。彼らの研究者人生に関われることがうれし、何より会話が楽しいんです」と雅弘さん。

また、この宿ならではのユニークな宿泊プランも見逃せない。地元の自動車学校と提携し、免許取得を目指す人のための格安パックを用意しているのだ。「道外から免許を取りにくる人もいますよ。旅行気分です免許を取得できるのは、うちならではです」と恵理さん。

この旅で、雅弘さんは北海道の雄大な景色と人々の温かさに触れ、移住を決意。そして、羽幌での出会いで意気投合した二人は、将来小さな宿を経営するという共通の夢を持って結婚した。新居は札幌に構えたが、結婚式は出会いの地である羽幌の教会で挙げたという。

そして結婚の翌年、羽幌町立ユースホステルの管理人が辞めるので、やってみないかと、突然声がかかったのだ。「1987年のことです。自分たちの宿を作るまでなら、と引き受けたんですが、それから8年間も管理人を続けることになりました」と雅弘さんは話す。

その後、町が宿を手放すことになり、1997年9月にこの場所を借りて、自分たちのユースホステルをオープンさせた。「最初は美瑛や富良野なども候補地として考えていたのですが、やっぱり住み慣れた羽幌が一番いいねということになったんです」と恵理さん。その傍らで、「ここを離れたら生ウニや新鮮な魚も食べられないしなあ」と雅弘さんがつぶやくと、恵理さんも笑ってうなずいた。

最後に「旅とは何か」を、雅弘さんに尋ねてみた。「〈出会い〉のひと言につきますね。特に若い人には、一人旅をすすめます。風景や人との出会いはもちろんですが、旅をすることで普段は気づかない、もう一人の自分が見えてくる。それもまた、出会いと言えるんじゃないでしょうか。旅の途中で孤独を感じたり辛いことに遭遇したりするかもしれないけれど、遊びつてあまり安全だと面白くない。旅も人生も思いつき、とことん味わいつくしてほしいですね!」。

宿名にもなった「遊(び)歩(く)」とは、高梨夫妻が歩んできた“人生という名の旅”そのものを象徴している。



羽幌エリアは世界的なアンモナイトの産地。雅弘さんが自分で採取したマニア垂涎の化石も必見!





©羽幌町観光協会



©羽幌町観光協会



©羽幌町観光協会

A 天売島 (てうりとう)

羽幌港から約28kmの沖合に浮かぶ天売島。周囲約12kmの小さな島ながら、絶滅危惧種のオロロン鳥やウトウ、ケイマフリなど約100万羽の海鳥が、約3000人の島民と共存する。世界のバードウォッチャーが憧れる「海鳥の楽園」で、大自然のいとなみを体感したい。7月のシーズンには、絶品のウニも堪能できる。

北海道苫前郡羽幌町大字天売
TEL:01648-3-5401(天売島観光案内所、4月末～8月31日)
URL: <http://www.haboro.tv/see.php#teuri>



©羽幌町観光協会



©羽幌町観光協会

B 焼尻島 (やぎしりとう)

天売島の約2km手前にある焼尻島は、島の3分の1が天然記念物の原生林に覆われ、貴重な高山植物が咲き誇る。島の中央部に広がる牧草地では、最高級ラム肉で知られるサフォーク羊が草をはむ姿が。焼尻島・天売島と羽幌港はフェリーと高速船で結ばれている。

北海道苫前郡羽幌町大字焼尻
TEL:01648-2-3993
(焼尻島観光案内所、4月末～8月31日)
URL: <http://www.haboro.tv/see.php#yagishiri>



©羽幌町観光協会



D 苫前グリーンヒルウインドパーク

羽幌町の隣まち・苫前町には3つの風力発電所があり、海を見下ろす広大な丘陵地に40を超える巨大な風車が点在する。牧草地の中にそびえる白い風車群は、圧倒されるほどの美しさだ。標高46のP.V.ロケ地に使われたことから、ファンの聖地にもなっているそう。

北海道苫前郡苫前町字旭37番地1
TEL:0164-64-2212(苫前町役場商工労働観光課)



C 北海道海鳥センター

観光省と羽幌町が共同運営する、日本唯一の海鳥専門施設。館内には、海鳥繁殖地の崖面を再現したジオラマや海鳥の実物大模型、海鳥の鳴き声も試聴できる。入館無料。開館時間：午前9時～午後5時。休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始。

北海道苫前郡羽幌町北6条1丁目
TEL:0164-69-2080
URL: <http://www.seabird-center.jp/>

高梨マネージャーの
おすすめ
スポット



天売島・焼尻島行き
フェリー乗り場

羽幌町役場

道立羽幌病院

羽幌遊歩コースホテル

オロロンライン
からの風車

オロロンライン

HERE!



D

北海道産アンモナイト

抽選で5名様に
プレゼント!

※ご宿泊いただいた方が対象です。

ご応募は日本ユースホテル協会
ホームページの専用お申込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hm/>

応募締切 2020年10月末日

※なお、当選発表は、商品の発送を以て
かえさせていただきます。

アンモナイト眠る山への
拠点として

長期宿泊学生割引制度

対象は化石や地質調査を含む学術調査・研究・研修等を目的とする学生で、2週間以上の連泊が確定している場合。1泊2食付き4200円。「長期滞在中は家族のような存在なので、簡単なお手伝いを頼むこともあります。それが楽しいと皆さん言ってくれますよ」と高梨マネージャー。その他に運転免許宿泊パックも用意する(申込み・問い合わせは「羽幌自動車学校」TEL:01646-2-3988へ)。





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.21
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
RINA SAWAYAMA(リナ サワヤマ)
旅先での出会い、感じたこと、
すべてが曲の中に生きている。



ユースホステルはじめての一步 P20



Youth Hostel Pick up P08
日本海を望む丘の宿は、
羽幌を愛する夫妻が営む
旅の交差点
羽幌遊歩ユースホステル



教えて! 旅GIRL P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
また、旅立つときのために……
アメージングな世界の秘境 & 大自然
■大地を埋める空前の万枚田
■難破船が見守る秘密のビーチ
■ウェーブを描く赤砂の芸術作品
■目の覚めるような鮮やかなピンクの湖
■先住民族マオリの「聖なる森」



松島むうの晴れときどき旅びより P22

Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.21の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承頂きますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール

	変更前	変更後
夏号	6月下旬	8月下旬
秋号	9月下旬	10月下旬(予定)
冬号	12月下旬	変更なし(予定)
春号	2月下旬	変更なし(予定)